

187.院内救急コールの事例分析

研究の概要

院内救急コールシステムは、院内心停止や予期せぬ急変時に救命を第一優先として病院全体で対応するシステムです。近年は、急変時の迅速対応の重要性が認識され、院内迅速対応システム(rapid response system ; RRS)導入が病院機能評価の項目となっており、当院でも2022年より導入されました。RRS導入以前の院内緊急コールの事例分析を行い、院内救急コール対象者の特徴ならびに予後を明らかにすることで院内救急コールに関する教育やRRSのスムーズな導入に役立つものと考えます。

研究の目的と方法

今回の研究は、当院における院内救急コール対象者の特徴ならびに予後を明らかにすることを目的とします。本研究では、国立病院機構熊本医療センターに入院または外来受診された患者さんのうち、2009年3月31日～2022年3月31日までの院内コールが要請された方を対象としています。研究対象症例数は、約170名です。日常診療で得られたデータ（年齢、性別、身体所見、検査内容、検査値、最終診断、治療状況、転帰）を電子カルテから集計いたします。

本研究の参加について

これにより、患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。ご自身のデータを本研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせまでご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することはなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者さん）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は、記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

調査期間

調査対象期間：2009年3月31日～2022年3月31日

研究実施期間：倫理委員会承認後～2024年3月31日

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や学術論文で発表いたします。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 総合診療科 辻 隆宏

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 総合診療科 辻 隆宏

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 総合診療科 辻 隆宏 電話 : 096-353-6501